

令和6年度 学校運営方針

1 学校教育目標

豊かな心を持ち、たくましく生きる子供の育成

(知) 学び合う子

(徳) やさしい子

(体) つよい子

2 目指す学校像

- ・ 安心・安全な学校
- ・ 保護者・地域から信頼される学校
- ・ 働きがいのある学校

3 本年度の重点目標

笑顔いっぱい！ ～チャレンジする子供の育成～

4 具体的方策について

(1) 確かな学力の育成

- ・ 児童が主体的に学習を進めたり、考えを表現し合ったりするなど、自らの学びを楽しみ深める児童の育成を目指した授業づくりを工夫する。
- ・ 学習専用端末等の ICT 機器を効果的に活用するとともに、一人一人の問題意識を大切にしたい学習過程を工夫する。
- ・ 生徒指導の実践上の視点を生かした授業の推進を行い、取組の評価を改善に生かす。
- ・ 校内研修の活性化を図るとともに、日々の実践に基づいた OJT を推進し、教員の授業力や指導力を高める。

(2) 豊かな心の育成

- ・ 互いのよさや頑張りを認め励まし合う機会の充実、心の居場所づくりに努めるとともに、よさを価値付けすることを通して、児童一人一人の自己肯定感や自己有用感を育む。
- ・ いのちを守るための知恵の習得と態度の育成に努める。
- ・ 児童の人権を大切にし、いじめ問題やインターネットによる人権侵害等に対しては、発達支持的生徒指導や未然防止教育に努める。
- ・ 地域や家庭と連携し、「挨拶」から広がる思いやりの心の育成に努める。

(3) 健やかな体の育成

- ・ 運動の楽しさや喜びを味わえる体育の授業、運動に親しみ意欲を高める活動の充実等、体力の向上につながる運動機会を確保する。
- ・ 家庭と連携し「早寝、早起き、朝ごはん」等、調和のとれた「食事」、適切な「運動」「休養」「睡眠」の健康三原則の徹底に努める。
- ・ 「メディアにあやつられないデー」「ビジョン体操」等を軸とし、自分の生活や健康をコントロールできる児童の育成に努める。

(4) 幼保・小・中連携教育の推進 ―グランドデザイン達成に向けての取組―

- ・ 中学校教員による出前授業の実施や小・中学校教員による合同研修会を開催する。
- ・ 幼保・小教員による合同研修会の実施や接続カリキュラムの作成を行う。

(5) 特別支援教育の充実

- ・ 特別支援教育校内委員会で児童の実態を教職員が共有し、組織的な支援体制を整え、一人一人の実態に応じた指導と支援に努める。
- ・ 特別支援教育に全校体制で取り組むとともに、関係機関との連携を図ることで指導の充実を図る。